



あだち社協

秋冬号

令和6年(2024年) No.77

特集
公開座談会
子どもの多様性 → 受け止める地域づくり …P1~3

足立社協70周年ロゴマーク選挙 …………… P4
INFORMATION …………… P4
●声/ささえあいクイズ

特集

第1回あだちコミュニティミックス連絡会*

公開座談会

子どもの多様性

受け止める地域づくり



不登校の子どもが増加、子どもの孤独・孤立が大きな社会問題になっています。年齢、国籍、性別、障がいなどの違いをお互いに認め合う社会をどのようにつくっていくか。日頃から、子ども支援の地域活動に関わる4名の方に、そのヒントを出し合っています。

座談会の内容は中面にあります

開会のあいさつ

人生100年時代。0歳から100歳までの人が行き交うことができる、居心地のよい場、多様な形の場を足立区内にいっぱい展開させたいと思って活動しています。

今日の登壇者は、現実にたくさんの場をつくり、多様な人々の交流をつくる仕掛け人で、この場の参加者の皆さんもそういう場を必要と感じている方々です。

多様な人々がそれぞれ受け止められ居心地のいい場ができるよう、今日は楽しみにしてきました。



大山光子さん

あだち子ども支援ネット
“がきんちょ”ファミリー代表

座談会スピーカー



熱海昌子さん

みんなのひみつきち(ふれあいサロン)運営

好きな言葉

真理の探究



川島恵美子さん

じいじハウス・ばあばキッチン(子ども食堂)運営委員
民生・児童委員

好きな言葉

子どもは地域の宝
子どもは地域で育てる



小宮久恵さん

あだちファミリースペース every tree(みんなの交流場所)代表

好きな言葉

来るものには安らぎを、
去り行くものには幸せを



宮本明彦さん

がるまる(子ども食堂・食支援・居場所づくり)代表

好きな言葉

明るく、楽しく、無理しない、逃げない、めげない、あきらめない

※あだちコミュニティミックス連絡会

足立社協と足立区NPO活動支援センターの共同プロジェクトです。人生100年時代をテーマに連絡会を実施し、活動の情報共有と、協働・協創による取り組みの具体化に向けた支援を行っています。



子どもの 多様性

特集 公開座談会

第1回あだちコミュニティミックス連絡会



【司会】はじめに、子どもを支援する活動の現場には、どんな子どもがいて、どんな様子なのか、子どもたちの実像についてお話しください。

多国籍化が進んでいます

【宮本】数年前までは東南アジア系のハーフやクォーターが多かったのですが、最近ではインド、ネパール、パキスタン、アフリカ系の子どもも増えました。今後、さまざまな方たちが地域に根付いていくわけですから、今からそれを見据えていかなければと思っています。

放課後の居場所が多様化

【熱海】私自身の活動の出発点は、自分の子どもの放課後の居場所がなかったことだったので、友だちと遊べる場ができればいいかな、ぐらいに思っていました。ところが子どもの口コミであつという間に40人が集まるようになりました。小学1年～中学生まで学年もさまざま。学童や児童館など、大人に管理される場に居心地が悪くなった子どもたちが集まってきています。

潜在ニーズの掘り起こしは難しい

【川島】初めは子ども食堂を必要とする子の掘り起こしがたいへんでした。学校に相談してもなかなか難しく、夜中に子どもたちが集る場で声をかけたり。今ではいろいろな方が集まっています。一人親の家庭も多いですね。

学校に行っていない子どもたち

【小宮】去年、活動を始めたばかりです。学校に行きたくない子、行きづらくなってしまった子、性別の多様性…、いろいろです。学校に行っていないなくても、笑顔でまちを歩けるようになるといいなと思って活動をしています。

【司会】人と違うことが引き金になって、表に出られなくなる子どももいます。その辺で気づいたことはありますか？

夏休みの情報格差

【熱海】夏休みに低学年の利用が減りました。高学年はスマホをもって友だちどうし約束できるけれど、低学年は子どもどうしのつながりが断たれているのかも。

進学格差を壊したい

【宮本】成績で差別されたり、経済的な理由で進学できないという話を耳にしますが、そこは壊したい。小学生をオープンキャンパスに連れて行ったら、いろんな発見があったみたい。自分の将来の夢や希望をもつことが大事だと思います。

思いを伝え合える場でありたい

【小宮】環境問題について学ぶ場を作ったときのこと。今まで環境問題を放置してきた大人への思いを、ある子が「大人はばかだ。前からわかっていたのに」と話しました。思いを普通に伝え合えて、受け止められる場が広がるいいと感じます。

子どもたちを誇らしく思います

【川島】ボランティアセンターから理数系が得意な先生を紹介してもらいました。出席日数の足りない中学生が、数学と英語をがんばって勉強して、結局高校に入れたんです。私たちもうれしくて、「お赤飯炊かなくっちゃね」となりました。



活動紹介

こども食堂(じいじハウス・ばあばキッチン)

中学生ぐらいまでの子どもを対象に、毎週水曜日の夕食時に、食事を提供しています。おかわりは何度でもあるだけどうぞ。

料理を担当しているのは、地域の民生・児童委員とボランティアたちです。また、学習支援のための「じいばあ無料塾」も毎週土曜日にNPO活動支援センター会議室を使って開いています。



夏休みだけ2回開催している「唐揚げ食べて夏を乗り切ろう!!」のお弁当に大喜びの子どもたち。

みんなにとっての「おじいちゃん、おばあちゃんの家だと思ってほしい」と思いをこめてネーミングしました

運営委員・川島恵美子さん



あだちファミリースペースevery tree

学校に行っていない子どもたちのための居場所。子どもたちが自分の好きなものを見つけ、いろいろな人と出会える、街の木陰のようなスペースを目指して週3回開催しています。

ママがリフレッシュできるように子育て相談やイベントを開催したり、シニア向けのスマホサポートをしたりなど、幅広い年代の交流場所になっています。



「やらなきゃ」ではなくて「やってみよう」を増やすことを心がけています

代表・小宮久恵さん



子どもたちの発想や思いをゆっくり聞き、どうしたいと一緒に考えることを大切にしている。

受け止める 地域づくり



【司会】孤立する子どもたちの現状を踏まえて、多様性を受け止める地域づくりについて話し合いたいと思います。どうなっていけばいいか、どうしていききたいかを伺います。



「マルシェ」が進化中

【宮本】「子ども食堂」という看板では、本当は来てほしい家庭が来られないと感じています。枠にはめずに、少し裾野を広げたい。

子ども食堂が新型コロナでストップしたときに、「室内がダメなら屋外で!」と、マルシェを開始。もともとは買い物困難地域の活動でしたが、色々形を変えてやり始めています。高齢者サロンや自治会、高齢者施設ともつながっていい流れになっています。



制度やしきみをうまく利用

【熱海】「ひみつきち」は足立社協のふれあいサロンのしきみを使っています。足立社協と組めたことは大きかったと思います。



足立社協では多様な場づくりやネットワークづくり、場への参加を支援しています。

問い合わせ 基幹地域包括支援センター
TEL 6807-2460 FAX 5681-3374

多世代を巻き込みたいという思いがあって、足立区の「元気応援ポイント」を活用しています。高齢者が子どもの見守りに来てくれたらポイントが付きます。どんどんポイントを貯めてもらって、ポイントを換金したときに少しでも子どもたちのために使いたいと思ってもらえたら最高です。



地域の接点となる場づくり

【川島】民生委員として出会う一人暮らしのお年寄りには、元気な方も多い。子ども食堂に来て色々な人と関わったら、もっと輝けるんじゃないかな。

今は三世代同居も少ないから、接点になる子ども食堂になるといいと思って活動しています。



まちで声をかけ合える関係に

【小宮】不登校の子は人の視線を感じるから「外に出たくない」と家から出づることがあります。ちょっとした交流で色々な子どもがいることを知ってもらって、顔見知りが増えるまちになればいいなと思います。



違うカテゴリーどうしをつなげたい

【熱海】子どもに関わることの全体像をつかんでいる人が少ないと感じます。教育も福祉も自分の専門分野には詳しいけど、他の分野のことは知らない方も多い。エリアや世代の分断も感じます。

違うカテゴリーどうしがつながることをやっていきたい。

いいところ取りの幸せ



【川島】「じいじハウス・ばあばキッチン」の活動では、ボランティアセンターから学習支援の先生をお願いしたり、NPO活動支援センターから食料を支援していただいたり、町会からもご寄付をいただいたり、ずいぶん助かっています。皆さんのいいところ取りをさせてもらえて、幸せです。



大人の背中を見て子どもが育つ

【小宮】大人が楽しむ姿を見せて、子どもがその姿にあこがれるような循環になるといいですね。大人もやりたいことをやれる場で、人との違いをみんなが楽しむ感覚をもつことが大切じゃないかな。

【司会】つながるきっかけをつくり続ける努力をしていかなければいけませんね。

まとめにかえて

不登校の子が増えているということは、それだけ居場所がないということ。学校も努力しているけれど、そこにも居心地の悪い子は出てきます。

人との関わりが苦手な子ども、多様な場で多様な人と出会えることが大切だと思います。そういう場をつくるためには、多様な団体がそれぞれの強みを活かしてネットワークを作って受け皿を作ることが必要だと、改めて感じました。



片野和恵さん

LILA子どもの学びを支援する会 理事

がるまる

子どもたちのために「つながる 広まる やってみる」に取り組んでいます。

地域交流サロンや学習支援教室との連携による子ども食堂の開催。コロナ禍以後は、フードパントリーやマルシェへ移行するなど、他の団体と連携しながら多彩に活動しています。



こども食堂がるまるのメンバー



谷在家さくらマルシェ。絵本の読み聞かせや、制服の寄附、生鮮野菜や盆栽、雑貨など、団体や個人が得意なことできることを持ち寄ります。

活動はつながることからはじまります
行政、企業、他の団体の依頼や連携は
断らないようにしています



代表・宮本明彦さん

みんなのひみつきち(ふれあいサロン)

放課後の地域の子もたちが、自由に過ごせる交流スペース。毎週水曜日に団地の集会所を開放して開催しています。

大人側からはあえて何もしないことが特長。「ひみつきち」は、施すものではないと考えるからです。大人も子どももゆるやかな見守りの中で、思い思いの時間を過ごします。



あそびも子どもたちが主体。



すべての世代の交流ができて、
だれでもOKのあたたかい居場所、
関係づくりの場をめざしています



運営・熱海昌子さん

足立社協70周年 ロゴマークの投票を お願いします

足立社協は、令和7年(2025年)3月に設立70周年を迎えます。70年間、地域福祉活動に取り組んで来られたのは、皆さまのおかげと感謝しております。さらに次の10年後、20年後に向けて、人と人がつながり、支え合うまちづくりに、より一層力を入れてまいります。

3月には記念式典を予定しているほか、1年間、足立社協のイベントや広報メディアに70周年マークを使って意識啓発のPRをしていきます。あなたの1票で70周年のロゴマークをお選びください。

- 投票対象者** 足立区在住・在勤・在学の方
- 投票方法** 専用フォームまたはハガキで投票(1点)、住所、氏名を記入
- 投票期間** 12月16日(月)まで(消印有効)
- 発表** 令和7年(2025年)3月中旬「あだち社協」春号、ホームページ、フェイスブック
- プレゼント** 投票された方から抽選で、70周年ロゴ入り記念グッズを差し上げます。
- 問い合わせ
ハガキ送付先** 〒120-0011 足立区中央本町1-17-1
足立区社会福祉協議会 企画経営課
TEL 3880-5740 FAX 3880-5697



候補作品

多様性をイメージする虹色のデザイン			地域活動を後押しするイメージ	
[A案] 地域とささえあい70周年 足立社協 テーマ:チャレンジ	[B案] 地域とささえあい70周年 足立社協 テーマ:寄り添い	[C案] 足立社協 地域とささえあい70周年 テーマ:協力	[D案] 地域とささえあい70周年 足立社協 テーマ:つながり	[E案] 地域とささえあい70周年 足立社協 テーマ:応援

INFORMATION

歳末たすけあい運動にご協力を! 募金受付期間:12月1日(日)~28日(土)

今年も12月1日から「歳末たすけあい運動」を行います。

昨年は皆様のご理解、ご協力により8,358,420円の募金をいただき、ありがとうございました。

皆さんからいただきました募金は次の事業に配分する予定です。

- ①歳末の遺児見舞事業
- ②令和7年度地域福祉活動事業
 - ・ひとり暮らし高齢者の安否確認事業
 - ・福祉団体行事等助成事業
 - ・ふれあいサロン支援事業

募金方法

①社会福祉協議会の窓口(足立区役所南館11階)
募金期間中の、平日午前9時~午後5時までの間

②金融機関によるお振り込み
下記口座にお振り込みください。

足立成和信用金庫 本店
普通預金 口座番号382277
口座名 社会福祉協議会
(シャカイフクシキョウギカイ)

※募金受付期間中は、足立成和信用金庫各支店窓口備え付けの専用振込用紙でお振込みください。
振込手数料は足立成和信用金庫様のご厚意により、無料となっております。(窓口受付時間 平日午前9時~午後3時)

区内各町会・自治会様からも、回覧募金などにより毎年多大なご協力をいただいております。
今年度も皆様のご理解、ご協力を心よりお願いします。

問い合わせ 足立区社会福祉協議会 総務課
TEL 3880-5740 FAX 3880-5697
平日 午前9時~午後5時

声

76号(令和6年夏号)
『ちょっとした困りごと解決』
~ちょこっとサポート拠点型モデル事業の紹介~
を読んで。(原文掲載)

- 足立区でこのようなサポートが行われていることを今回この新聞を読んで初めて知りましたが、とてもよい取り組みだと思いました。地域の住民同士「ちょっとずつ、でもできる範囲でお互いをサポートしていく心遣い(気遣い)があるとこれから歳をとっていても安心して生活していける拠点作りに繋がっていくからです。
(足立区千住曙町・Kさん)
- ちょこっとサポートは、とてもいい取り組みだと思います。
(足立区本木西町・Iさん)
- 親しみやすい内容の情報紙で読みやすいです。これからもいろいろな情報、期待しています!
(足立区小台・Iさん)
- 私自身も高齢者で、ひとり暮らしをしています。
ささえあ地域福祉の情報紙を読んで「ちょこっとサポート」拠点型モデル事業がさらに広まり地域から孤立・孤独にならない、させない、あたたかい人と人の心がつながる暮らしやすい地域になってくれることを願っています。
(足立区神明・Sさん)

ささえあいクイズ

クイズの応募先

○○○に入ることは?
ヒントは1面にあります。ハガキまたはホームページ専用フォームより、答え、住所、氏名、年齢、感想を記入のうえ、お申し込みください。
抽選で30名様に、大樹&小枝オリジナルキャラクターグッズを差し上げます。発表は発送をもってかえさせていただきます。(1月31日(金)当日消印有効)

あなたの
ご意見・ご感想を
お待ちしております

次回、春号(78号)は3月発行予定です。

「あだち社協」は、区民事務所や駅の情報スタンドなどに設置しています。また、会員の皆さまには郵送等でお届けしております。企画経営課 TEL 3880-5740

足立社協の講座やイベント情報は、毎月「公社ニューストキメキ」(足立区全戸配布)にも掲載しています。